

参考 3

～ 用語集 ～

情報サービス業における「職業能力の体系」整備に関する専門用語集

1/8
令和5年1月20日

NO	用語名	英語名	用語の略語	用語の意味
1	CSR	corporate social responsibility	企業の社会的責任	昨今、企業活動の目的、本質である「利潤追求」は勿論、「労働環境の整備」「社会的弱者の救済」「自然環境への配慮」「資源やエネルギーの保護」「コンプライアンスの順守」が重視されている。企業の社会的責任とは、消費者、投資家、社会全体など利害関係者を考慮し、社会の一員と企業の意思決定や活動を行うべきとの考え方のことである。
2	BCP	Business Continuity Plan	事業継続計画	企業が自然災害などの緊急事態に遭遇した場合、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続に必要な方法、手段などを取り決めておく計画をいう。
3	ISO22301	Business Continuity Management System	事業継続マネジメントシステム	組織の重要な製品またはサービスに重大な影響を与えるインシデントの発生の際に「事業を継続する」ために必要な企業活動を管理するフレームワークの国際規格のこと。
4	FOB	Free on Board	本船渡し (輸出入手続き)	インコタームズ(国際貿易取引条件)のうちコンテナによる船積み貨物の引き渡しでよく使われる取引条件の一つ。(輸出港で買い手(輸入車)の指定する船舶に貨物を積み込むことで契約が完了し、運賃及び保険料は買い手が負担する)
5	CFR	Cost and Freight	運賃込みの条件 (輸出入手続き)	商品が船に積まれた段階で輸出者から輸入者へリスクの負担となる。(費用は輸入国まで輸出者が負担)
6	CIF	Cost Insurance and Freight	運賃・保険料込 (輸出入手続き)	商品が船に積まれた段階で輸出者から輸入者へリスクの負担となる。(これはFOBと一緒にであるが、費用に関しては輸出者は輸入国までの運送費用だけでなく保険料も負担)
7	CP	Compliance Program	コンプライアンス・プログラム	輸出者自らの責任と判断に基づき輸出管理業務を行うことが、日本の安全保障貿易管理制度の基本理念である。キャッチオール規制の導入に伴い、輸出企業の判断に委ねられる部分が従来に比べ増加するため、企業の自主的安全保障貿易管理制度体制として法令順守プログラムすなわちCPを制定し経産省に届け出ることが求められている

NO	用語名	英語名	用語の略語	用語の意味
8	ERP	Enterprise Resources Planning	企業資源計画 (統合基幹業務システム)	企業経営の基本となる資源要素(ヒト・モノ・カネ・情報)を適切に配分し有効活用する計画(考え方をいう)。(現在ではすべての業務を統合し部門間でシームレスなデータ連携を行う基幹系情報システムを指す)
9	欧州CE規格	—	欧州の安全規格	1993年に誕生した欧州連合(EU)の加盟国は、独自に運用していた安全や環境保護に関する法令・規格などの法的整備を図り、商品・サービスの自由流通を促進して欧州経済を活性化するための規格(「指令」と呼ばれる共通ルールを制定し、CEマーキングとして運用している)。
10	キャッチオール規制	Catch-All Controls	補完的輸出規制	外国が替及び外国貿易法を根拠として2002年4月に導入された。日本の安全保障貿易管理の枠組みの中で大量破壊兵器及び通常兵器の開発等に使用される可能性のある貨物の輸出や技術の提供行為などを行う際、経済産業大臣への届け出及びその許可を受けることを義務付けた制度である。
11	QC	Quality Control	品質管理	科学的に製品の品質を管理する方法で、管理図法、層化法、対照法、相関法などを使用する。QC活動を行う現場段階での従業員の小集団、全社的なQC活動のことをTQC運動という。
12	REACH規制	Registration, Evaluation, Authorisation, Restriction and Chemicals	Reach規制 (リ―チ規制)	2007年6月に発効したEU(欧州連合)において化学物質の登録、評価、認可及び制限をひとつに統合した規則。人の健康や環境の保護のため、化学物質とその使用を管理するための欧州議会及び欧州理事会規則である。
13	RoHS指令	Directive on the Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical Equipment	RoHS指令 (ロ―ズ指令)	EUにおいて、人の健康の保護や環境汚染の防止のため、電気電子機器に使用できる特定の有害物質の量を制限する指令。特定の有害物質として、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB(ポリ臭化ビフェニル)、PBDE(ポリ臭化ジブフェニルエーテル)が指定されている。原則として、2006年7月以降に販売された、電源(電池を含む)で動く全ての機器が対象となる。
14	UN	United Nations Recommendations on the Transport of Dangerous Goods	—	危険物輸送に関する各国及び国際規則に統一性を持たせ、輸送の安全を図るため、国際連合・経済社会理事会・危険物及び分類調和専門委員会が「危険物輸送に関する勧告」を策定している。これに準じて定められた諸規則のことであり、国際規格となる。
15	電子帳簿保存法	Law Concerning Preservation of National Tax Records in Electronic Form	—	国税関係(法人税法や所得税法)の帳簿、決算書、請求書等を定められた条件を満たせば電子化して保存することを認める法律のこと。(2022年1月施行)
16	インボイス制度	現時点で英文表記の公表無し	—	2023年10月1日から導入される新しい仕入税額控除の方式である。 (仕入税額控除とは、生産、流通等各取引の段階で二重、三重に税がかかることのないよう、課税売上に係る消費税額から課税仕入れ等に係る消費税額を控除し、税が累積しない仕組みである。)

NO	専門用語名	英 語 名	専門用語の略語	専 門 用 語 の 意 味
17	知的所有権	intellectual property rights	-	人間の知的活動によって生み出されたアイデアや創作物などには、財産的な価値を持つものを知的財産という。それらの知的財産の中には意匠権、商標権、著作権、特許権、実用新案権など、法律で規定された権利や法律上保護される利益に係る権利として保護されるものであり、知的財産権という。
18	BIツール	Business Intelligence tools	-	企業の業務システムの種類で、データベースなどに蓄積された膨大なデータを抽出・加工・分析し、意思決定に活用できるような形式にまとめるツールのこと。
19	SOA(サービス指向アーキテクチャ)	Service Oriented Architecture	サービス指向アーキテクチャ	コンピュータ・システムを開発する時の考え方・手法を指すもの。(大規模なコンピュータ・システムを構築する際の概念あるいは手法の一つで、業務上の一処理に相当するソフトウェアの機能をサービスと見立て、そのサービスをネットワーク上で連携させてシステム全体を構築していくことを指す言葉である)
20	EDI	Electronic Data Interchange	電子データ交換	商取引に関する情報を標準的な形式に統一して、企業間で電子的に交換する仕組みのこと。(受発注や見積もり、決済、出入荷などに関わるデータを、あらかじめ定められた形式にしたがって電子化し、インターネットや専用の通信回線網などを通じて送受信する)
21	EC	Electronic Commerce	電子商取引	一般的にインターネットでのモノやサービスの売買取引全般のことを指すものである。
22	SDS	Safety Data Sheet	化学物質排出把握管理促進法で定められたシート	事業者が化学物質及び化学物質を含んだ製品を労働環境における使用及び他の事業者に譲渡・提供する場合に交付する化学物質の危険有害性情報を記載した文書であり、GHSに基づいて作成されるもの。(2012年にMSDSからSDSへ変更)
23	KYシート	-	-	KY(危険予知)活動の内容を記録・保管できるシートのこと。
24	CALS	continuous acquisition and life-cycle support	継続的調達とライフサイクル支援	生産・調達・運用支援統合情報システムのこと。(製品やサービスの情報を共有し、設計・生産・調達・決済までのすべてをネットワーク上で行うための標準規格である。)
25	データサイエンティスト	data scientist	-	データ科学(サイエンス)とは、データを用いて新たな科学のおよび社会に有益な知見を引き出すとすることをプロトタイプすることである。(その中でデータを扱う手法である情報科学、統計学、アルゴリズムなどを横断的に扱う) データサイエンティストとは、ビッグデータなどから必要な情報を収集、抽出するプロフェッショナルで有益な知見等を導き出す専門家のことである。
26	CAMBRIC	-	キャンブリック	CAMBRIC(キャンブリック)は、「C: Cloud Computing, A: Artificial Intelligence (AI), M: Mobility, B: Big Data, R: Robotics, I: Internet of Things (IoT), C: CyberSecurity」の頭文字を取ったものである。
27	GLBA	Gramm-Leach-Bliley Act	グラムリーチブライリー法	GLBA は、金融サービス業界を改革し、商業銀行、投資銀行、証券会社、および保険会社が統合し、消費者のプライバシー保護に関する懸念に対処することを可能にした米国の法律である。
28	HIPAA	Health Insurance Portability and Accountability Act	医療保険の相互運用性と説明責任に関する法律	電子化した医療情報に関するプライバシー保護・セキュリティ確保について定めたアメリカの法律である。

NO	専門用語名	英語名	専門用語の略語	専門用語の意味
29	HITECH法	Health Information Technology for Economic and Clinical Health Act	経済的及び臨床的健全性のための医療情報技術に関する法律	HIPAA法を拡張し違反に対する罰則を厳しくしたアメリカの法律。(HITECH法では、医療機関がHIPAAが定める「プライバシー規則」「セキュリティ規則」に準拠しているか監査する。それにより、HIPAA法とHITECH法の両方で、PHI(保護対象保健情報)のセキュリティとプライバシーを保護する。)
30	JIS	Japanese Industrial Standards	日本産業規格	日本の産業製品に関する規格や測定法などが定められた日本の国家規格のこと。
31	UL (UL LLC)	Underwriters Laboratories Limited Liability Company	ユーエル	元々は、米国認証機関「Underwriters Laboratories Inc.(UL)」が策定する製品安全規格のことであり、政府機関より認定を受け、連邦規格に基づき様々な製品の安全試験・認証を行うことを認められた民間の機関のことである。(UL規格の目的は、材料、装置(部品)、ツールから製品の「機能や安全性」に関する標準化をする)
32	CSA	CANADIAN STANDARD ASSOCIATION	シーエスエー	1919年に非営利、非政府機関の標準化団体として設立されたものが母体となって現在では工業標準化以外に電気製品を対象とした安全試験も行っている。ULに比べ、政府等官公庁とのつながりは深く、CSAIに認定されていない製品はカナダ国内で販売できない。
33	VDE	VERBAND DEUTSCHER ELECTROTECHNISCHER e.V.	-	ドイツ電気技術者協会(VERBAND DEUTSCHER ELECTROTECHNISCHER e.V.)の略称で、主に電気製品の安全に関する各種事項を規定している。(VDEは、VDE規格に準拠して電気製品の安全性を確認する試験と認定を行なっている)
34	CSS言語	Cascading Style Sheets	-	CSS言語とは、HTMLで作られた文書構造にデザインを加えて見栄えを整える役割も持つ言語である。
35	HTML言語	Hyper Text Markup Language	-	HTML言語とは、見出しやヘッダー情報など、Web頁の文書構造を形成する言語である。
36	IEC	International Electrotechnical Commission、(IEC)	国際電気標準会議	電気工学、電子工学、および関連した技術を扱う国際的な標準化団体のこと。
37	KGI KPI	Key Goal Indicator Key Performance Indicators	重要目標達成指標 重要業績評価指標	KGI: 日本語では「重要目標達成指数」と言い、個人だけでなく、チームにおいて組織や企業が掲げている目標をめざして活動をする中で、最終的に達成すべき目標をどれだけ達成することができているのかを考える際に用いる指標。 KPI: 日本語では「重要業績評価指標」で、KGIを達成するために重要な中間的な指標である。設定したゴールへと到達するために順調に実績を重ねることができているのか、というプロセスを図る指標。
38	ウォーターフォール	waterfall	-	ソフトウェア開発をはじめとするシステム開発で用いられる開発手法の一つ。各工程を明確に定義して一括で管理するため、全体が整理されて体系化しやすい、作業の順番が明確であるためスケジュール管理がしやすい、作業時の資源や工数などの手配が行いやすい等のメリットがあり、大規模なプロジェクトに向いている開発手法であるが、仕様変更等があった場合、システム全体の見直しに波及するなど欠点もある。
39	アジャイル	agile	-	アジャイル開発とは、ビジネスの価値の最大化に向けて、顧客に価値のあるソフトウェアを早く、継続的に提供するためのアプローチである。
40	DevOps	開発チーム(Development)と運用チーム(Operations)との協調の意味	デブオプス	明確な定義となると難しいが、DevOps(デブオプス)とは「ビジネスの価値を高めることを目的に、製品・サービスを迅速かつ継続的にユーザーへと届けるために、ITシステムの開発チーム(Dev)と運用チーム(Ops)が協調すること」の意味である。
41	WBS	Work Breakdown Structure	作業分解構造図	プロジェクトマネジメントで計画を立てる際、プロジェクト全体を細かい作業に分割した構成図のこと。大きな単位から小さな単位へ段階的に分割し、階層構造で表される図表のこと。

NO	専門用語名	英語名	専門用語の略語	専門用語の意味
42	マイルストーン	milestone	-	ビジネス用語として使う場合は、「大きな節目」「経過点」「中間目標点」という意味である。(プロジェクトの工程で主要ポイントを設定し「マイルストーン」を予定通り達成しているか、すなわち「目標に向けて計画通りに進んでいるか」を確認するスケジューリング管理法に活用できる)
43	ガントチャート	Gantt chart	-	ガントチャートはWebサービス開発、建設現場、製造業など多岐にわたってプロジェクトの工程や進捗を管理する目的で活用されている。(WBSはプロジェクトの作業内容を細かく分解した一覧表であり、ガントチャートはメンバー全体で作業内容や進捗状況を共有するために作成するものである)
44	パラメトリック見積	Parametric estimating	係数見積り	係数見積りとも呼ばれ、過去のデータを基にしてパラメーター(変数)を設け、プロジェクトやアクティビティのコストや所要期間を見積る技法のことである。
45	EVM PV EV AC CV SV ETC	Earned Value Management Planned Value Earned Value Actual Cost Cost Variance Schedule Variance Estimate To Complete	計画値(出来高計画コスト) 進捗(出来高実績値) 実コスト コスト差異 スケジューリング差異 残作業コスト見積	プロジェクトのパフォーマンス測定のためのメトリックである。(予算及び予定の観点からプロジェクトの遂行状況を定量的に評価し、コスト効率と進捗率を一度に把握するためのプロジェクト管理の技法) プロジェクト開始時に予測した見積りと完成した成果を比較し、現在の進捗状況や課題を早期に把握する。 最初に計画を立てた時の出来高であり、これを基準に遅延やコストオーバーなど判断する。 現時点までの成果の実績である。 現時点までのコストであり、スケジューリング通りに進んでいればPVと同じ値となる。 現時点まで投入された合計コストと、計画時に現時点までに投入予定だったコストの差を計る。 残作業コスト予測、つまり今後の作業工数を金銭換算したものである。
46	iCD	-	iコンピテンシ デイクシヨナリ	情報処理推進機構(IPA)が開発された企業におけるITを活用するビジネスに求められる業務(タスク)と、それを支えるIT人材の能力や素養(スキル)を「タスクデイクシヨナリ」、「スキルデイクシヨナリ」として体系化したものであり、経営戦略などの目的に応じた人材育成に利用するものである。
47	JCSQE	JUSE Certified Software Quality Engineer	-	一般財団法人日本科学技術連盟の行うソフトウェア品質技術者認定である。
48	ブレインストーミング、	brainstorming	-	集団でアイデアを自由に生み出すことで、思考発想、問題解決などのため、仕事、教育シーンに用いられる会議手法の一つである。
49	リスクマップ	Risk Map	-	リスクマップとは、リスクの発生頻度・リスクの影響度を俯瞰的な視点で分析できるように整理したフレームワークを指す。
50	SWOT分析	Strength, Weakness, opportunity, Threat	スワット分析	内部環境である【強み】(Strength)、【弱み】(Weakness)、及び外部環境である【機会】(Opportunity)、【脅威】(Threat)の4つの観点から、企業や事業の現状分析を行うフレームワークのことである。
51	RBS	Risk Breakdown Structure	-	内部環境: 内部環境とは自社にて調整できるもので、製品の品質や価格、人材などの視点 外部環境: 自社では変更することが出来ないもので、景気動向や少子高齢化、法改正などの視点 リスクが見えてくるまで要素を分解し、構造化することによって、漏れなくリスク項目を抽出する手法である。
52	DOA	Data Oriented Approach	データ指向アプローチ	業務システムの設計手法の一つで、システムの扱うデータの構造や関係を定義し、それに合わせて処理や手順の流れを決めていく方式のことである。
53	SLO	Service・Level・Objective	-	どの程度の(Level)サービス提供(Service)を目標値として設定するか(Objective)というサービスの目標値の名称である。

NO	専門用語名	英語名	専門用語の略語	専門用語の意味
	OTP MFA	one-time password Multi-Factor Authentication	ワンタイムパスワード 多要素認証	ネットワーク上の認証において、毎回変化する1度限りのパスワードのこと。 本人確認のための要素を複数、ユーザーに要求する認証方式のこと。
54	SSO	Single Sign-On	シングルサインオン	一度の利用者認証で複数のコンピュータやソフトウェア、サービスなどを利用できるようにすること。
55	OSI参照レイヤ	OSI (Open System Interconnection) reference model	-	国際標準化機構(ISO)によって定められた通信機能の部分を役割毎に階層的な7つのレイヤーに分類したモデルのことである。
56	VFS	Virtual File System	バーチャルファイルシステム	UNIX系OSのファイルシステムの持つ仕組みの一つで、アプリケーションソフトとファイルシステムの間で介在し、ファイルシステムの基本的な機能を共通の方法で利用できるようにすること。
57	SMB	Server Message Block	-	SMBは、NFSと同じファイル共有などの際に使用するファイルサーバー機能で、主にWindowsで使われている通信プロトコルである。
	NFS	Network File System	-	NFSは、LinuxなどのOSに標準で実装されているファイルサーバー機能です。WindowsサーバーやMacでもサポートされているため、汎用性の高い仕組みとしてよく利用される。
	IaaS	Infrastructure as a Service	サービスとしてのインフラ	IaaSとは、仮想化技術を用いてハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスク)などのインフラリソースをネットワーク経由で提供するクラウドサービスの形態のこと。
58	PaaS	Platform as a Service	サービスとしてのプラットフォーム	PaaSとは、主にデベロッパ向けにアプリケーションソフトウェアの実行環境プラットフォームやサーバーバーストウェアを提供するクラウドサービスの形態のこと。
	SaaS	Software as a Service	サービスとしてのソフトウェア	SaaSとは、高速な通信環境の整備に伴い、ベンダー側に置いたソフトウェアをユーザーがブラウザ経由で利用するという形態のこと。
	IDE	Integrated Development Environment	統合開発環境	IDEとは、ソフトウェア開発に必要なソフトウェアを一つに組み合わせ、同じ操作画面から統一的な操作法で利用できるようにしたソフトウェアパッケージのこと。
59	アドインツール	add-in	-	アドインとは、ソフトウェアへ機能を追加するプログラム、またその手続きのこと。
	RADツール	RAD(Rapid Application Development) tool	-	一部の作業を自動化してくれたり、簡単な操作で複雑な処理を作り込めたりする、ソフトウェアの開発作業を楽にしてくれるソフトのこと。
60	コンポーネント (ActiveX/COM/CO M/.netなど)	-	-	ActiveX/COM/.Net: COM オブジェクトと .NET Framework オブジェクトを同じアプリケーションで使用する場合のメモリー内のオブジェクトの対処や .NET Framework オブジェクトはマネージド メモリ (共通言語ランタイムによって制御されるメモリー) 内にあることへの対処など、これらのマネージド コンポーネントとアンマネージド コンポーネントの相互作用を制御するためのツールやブラウザの機能拡張等のこと。
	doxygen	-	ドキシゲン	doxygenは、ソフトウェアのドキュメント化を自動で行ってくれるオープンソースソフトウェアである。
61	javadoc	-	ジャヴァドク	Javadoc とは、コンピュータソフトであり、Java のソースコードから HTML 形式の API 仕様書 を生成するものである。

NO	専門用語名	英語名	専門用語の略語	専門用語の意味
62	MVC MVVM	Model-View-Controller Model-View-ViewModel	-	MVC、MVVMとは、Webサービスを設計・開発する上の設計思想(ソフトウェアアーキテクチャ)のこと。 MVC: M(Model)は、アプリケーションが扱うデータの処理を行い、データの変更をViewに通知する役割であり、V(View)は、Modelが扱っているデータを取り出して、WebブラウザなどのUIへの出力を行い、C(Controller)は、ユーザーから入力されたものをModelに伝えることを担っている。 MVVM: MVCとの違いは、ユーザーが入力した情報と格納したデータをデータバインディングにて自動的に処理することである。 すなわち、M(Model)もV(View)も上述と同じ役割であるが、VM(View Model)では、ModelとViewを紐づける役割を果たし、ViewModelで変更されたデータは即座にViewに反映される。
63	IGMP PIM	Internet Group Management Protocol Personal Information Manager	-	IGMP は、マルチキャスト(一対多、あるいは多対多の通信)を行うためにホスト(Receiver)がルータ(ラストホップルータ)に対して、マルチキャストグループへの参加、維持、離脱を通知するためのプロトコルである。 PIM は、個人が日常的に利用する情報を管理・利用できるようにするソフトウェアである。
64	ER図	Entity Relationship Diagram	-	ER図は「エンティティ=モノ」と「リレーションシップ=関係」の組み合わせでシステムのデータやデータ間の処理構造を設計するもの。(ER図はシステムの上流工程の中で段階的に設計し、各工程で作成するER図の状態のことを「データモデル」と呼び、データモデルには「概念モデル」「論理モデル」「物理モデル」がある)
65	DNS	Domain Name System	ドメインネームシステム	DNS とは、インターネットなどの IP ネットワーク 上でドメイン名 (ホスト名) と IP アドレスの対応関係を管理するシステムである。
66	HTTP	Hypertext Transfer Protocol	エイチティイーティーピー	HTTPとは、WebサーバとWebクライアントの間でデータの送受信を行うために用いられるプロトコル(通信規約)のこと。
67	Active Directory	Active Directory	アクティブディレクトリ	Active Directory とは、マイクロソフト によって開発された オープンレミス における ディレクトリ・サービス・システムであり、Windows 2000 Server から導入されたユーザーとコンピュータリソースを管理するコンポーネント群の総称である。
68	DBMS	DataBase Management System	ディービーエムエス	データベースを管理し、外部のソフトウェアからの要求に応じてデータベースの操作を行う専門のソフトウェアのこと。
69	パーティションニング	partitioning	-	パーティションニングは、データベースにおけるテーブル内のデータを分割して保持する機能のこと。
70	シャードディング	sharding	-	シャードディングとは、一般にはデータを複数のサーバーで分散管理する技術を指す。(ブロックチェーンのランザクシオン処理を分割し取引検証作業効率を向上させる技術)
71	SQL	Structured Query Language	エスキューエール	SQLはデータベース(RDBMS)を操作するための言語のこと。
72	ACID特性	Atomicity Consistency Isolation Durability	-	ACID特性とは、関連する複数の処理を一つの単位として管理するトランザクション処理に求められる4つの特性 “Atomicity”(原子性)、“Consistency”(一貫性)、“Isolation”(独立性)、“Durability”(耐久性)の頭文字をつなぎ合わせたもの

NO	専門用語名	英語名	専門用語の略語	専門用語の意味
73	SSL	Secure Sockets Layer	-	インターネット上でデータを暗号化して送受信する仕組み(プロトコル)である。 (暗号化と認証の機能を保有)
74	フォールトトレラント設計	fault tolerant design	-	障害許容設計とも呼ばれ、システム設計の手法であり、システムの一部に問題が生じても全体が機能停止するということなく(たとえ機能を縮小しても)動作し続けるようなシステムを設計するものである。
75	フェールセーフ設計	fail-safe design	-	装置はいつか必ず壊れることを前提とし、故障時や異常発生時でも、安全側に動作させることで絶対に人命を危険に晒させないようにシステムを構築する設計手法である。 一方、一部機能を失っても全体としての機能を保ち、正常に稼働させ続けることは上述の「フォールトトレラント」であり、不具合が生じた箇所を停止したり、切り離すなどして残りの部分で機能や性能を落とさずして運転を継続させ続けるような設計・思想は「フェイルソフト」、誤作動しても危険が生じない、あるいは誤操作でできない構造や仕組みに設計することを「フェールプルーフ」と呼ばれ、人命に関わらないレベルのフェールセーフ設計の考え方も付記する。
76	SOLIDの原則	-	オブジェクト指向の原則	SOLID原則とは、オブジェクト指向プログラミングにおいて、変更しやすい・理解しやすい・再利用しやすいモジュール(クラスや関数などの、ソフトウェアの構成する部品)を設計・開発するための原則のこと。 <ul style="list-style-type: none"> • Single Responsibility Principle: 単一責任の原則 • Open/closed principle: オープン/クローズドの原則 • Liskov substitution principle: リスコフの置換原則 • Interface segregation principle: インターフェース分離の原則 • Dependency inversion principle: 依存性逆転の原則
77	GUI	Graphical User Interface	-	ユーザーの使いやすいさを重視してアイコンやボタンなどをを用いて直感的に分かりやすくコンピュータに指令を出さるようにしたユーザーインターフェイスである。
78	Ajax	Asynchronous JavaScript + XML	エイジャックス	Ajaxとは、あるWebページを表示した状態のまま、別のページや再読込などを伴わずにWebサーバ側と通信を行い、動的に表示内容を変更する手法である。
79	sagaパターン	-	-	Sagaパターンとは、結果整合性を使ったアーキテクチャの1つであり、複数の状態変更を調整できリソースを長時間ロックすることがないよう設計されたアーキテクチャパターンである。
80	GPS	Global Positioning System	ジーピーエス	全地球無線測位システム(24時間いつでも、地球上のどこにおいても、誰もが簡単に使用でき、しかも高精度に位置を測定可能)
81	PID制御	Proportional-Integral-Differential Controller	-	制御工学におけるフィードバック制御の一種であり、入力値の制御を出力値と目標値との偏差、その積分、および微分の3つの要素によって行う方法のこと。
82	RFP	Request For Proposal	提案依頼書	RFPとは、情報システムの導入や業務委託を行うにあたり、発注先候補の事業者に具体的な提案を依頼する文書のこと。